

部門委員会の活動の手引き

X線材料強度部門委員会

2005年2月

目次

第1章	組織活動と実務	2
1.1	事務手続き	2
1.2	委員長	2
1.3	総括幹事	2
1.4	庶務幹事	2
1.5	会計幹事	2
1.6	担当幹事	3
1.7	その他	3
第2章	各種事業	4
2.1	X線委員会	4
2.2	シンポジウム	4
2.3	討論会	4
2.4	総会・学術講演会	4
2.5	その他	4
第3章	規定，申し合わせ	5
3.1	X線材料強度部門委員会規程	5
3.2	内規	6
3.3	X線材料強度部門委員会賞規程	6
3.4	最優秀発表賞	6
3.5	謝金，旅費の申し合わせ	6

第1章 組織活動と実務

1.1 事務手続き

- 委員会の開催事務，発送など
今井敬三 (imai@jsms.jp)
- 会員異動，会計，その他
増永千春 (masunaga@jsms.jp)
- 会告等は掲載月の前月1日に入稿（ワードによる
FORMATあり）。
- 一般の問い合わせ，依頼は，jimu@jsms.jpへ出す
と事務全員が読めますので，心配いりません。

1.2 委員長

委員長は委員会を統括し，委員会を招集し，その議長を務めて健全な委員会運営を保持する。特に，部門委員会の全体の活動状況を判断し，適切に運営されるように指導し，委員会の責任を担う。また，委員会の組織，活動の原案を立案し，幹事会の議長を務める。

1.3 総括幹事

総括幹事は委員長の職務を補佐して，委員会の年間活動・長期活動を立案し，その推進を諮る。特に，委員会活動を総括し，各担当が円滑に活動できるよう援助する。また，すべての本部からの書類は，委員長と総括幹事に配送されるので，その内容を委員長と相談して，本部に回答する。

- 本部への回答。
- 部門賞の取り扱い。
- 幹事会の開催（4月，9月（推薦委員会），2月）
- 年間計画の作成と管理

- 2月末 部門委員会活動報告を本部へ提出
- 3月末 事業報告書を本部へ提出

1.4 庶務幹事

庶務幹事は総括幹事を補佐して，委員会の年間活動・長期活動の立案と推進について助言する。特に，日常的に委員会のすべての事務の運営と管理を行う。委員長と総括幹事の連絡を十分にとり，庶務を円滑に行うこと。

1. 委員会，幹事会，選考委員会等の議事録の作成，配布，
2. 委員会議事録の要約を会告として入稿
3. 委員の異動と名簿の管理，本部名簿と毎年すりあわせすること。
4. 委員会メーリングリスト (x-ray@quickml.com) の管理，特に，1ヶ月に1回以上の投稿をしないとメーリングリストが廃止されるので注意。詳しい使用法は，<http://QuickML.com/>
5. 委員会議題の提案と整理
6. 委員会の事務一般。
7. 最優秀発表賞の推薦依頼ととりまとめ。
8. 部門賞等の推薦書の作成，発送，表彰状，副賞の準備
9. 毎年，7月に名簿を発行する。

1.5 会計幹事

会計幹事は，委員長および総括幹事との連絡調整をもとに，委員会の年間予算を立案し，その執行にあたるとともに健全な委員会予算の保持に務める。旅費，謝金，委員会のすべての収入・支出の管理を行う。

4月 委員会にて決算，予算の提出

4月 自動引き落とし以外の委員に年度の資料作成費の請求

- 9月 シンポジウム決算の概算とりまとめ
- 10月 委員会にてシンポジウム概算の報告
- 11月 資料作成費の督促，シンポジウム予算案作成
- 1月末 増永さんより会計報告を受け取り，収支の概算作成
- 2月 委員会にて概算の報告と次年度予算案作成
- 4月上旬 本部に委員会の決算・予算を報告

1.6 担当幹事

各事業（委員会，シンポジウム，討論会など）については，担当幹事が実務に当たる．

- 担当事業のスケジュールを十分に考慮して方針を確定し，任務を遂行すること．
- 事業計画の内容，進捗など幹事間で意思疎通を図るようにすること．
- 委員会の支出については，必ず会計幹事と連絡を取ること．幹事は，会計幹事を通さずに委員会の支出をしてはならない．

1.7 その他

幹事として以下の事項について留意すること．

1. X線材料強度学に関する学術の発展および技術の向上に努力する．
2. 研究，社会の趨勢を広く見渡し，部門委員会の活動を的確に導く．
3. 幹事会の原則（時間，実務，出席など）を守り，幹事会の方針を自覚的に実行する．
4. 委員会活動および組織に個人の利益を置かない．
5. 委員，幹事との協力と信頼を大切にすること．

第2章 各種事業

2.1 X線委員会

3ヶ月前 担当同士の打ち合わせ，講演会会場，講師の選定に着手

2ヶ月前 講師への資料作成の依頼

1ヶ半月 委員会議事等を庶務，総括幹事と打ち合わせ

1ヶ月前 X線委員会の開催案内の送付

3週間前 資料原稿入稿

2週間前 資料集の送付先，部数，講師旅費，謝金，会場費などの連絡

当日 委員会の運営全般

2.2 シンポジウム

10月 期日，会場，原案作成

11月 会告原稿，事務依頼文書の作成

12月 予算，会告原稿を企画事業委員会へ提出承認，web, cgi プログラム作成

12月末 講演募集会告原稿（2月号）入稿，事務依頼を事務局へ提出

2月末 講演申し込み開始

5月上旬 申し込み締め切り，プログラム作成，講演者への原稿作成発送，広告の依頼

6月1日 講演プログラム原稿入稿（7月号掲載）

7月末 前刷り締め切り，講演論文集の原稿入稿完了（8月上旬），アルバイトの手配

9月 シンポジウムの開催，特集号申し込みの依頼

2.3 討論会

5月 予算，原案を担当で確認

6月末 期日，会場，原案作成

7月下旬 プログラム作成，講演者への原稿作成発送，広告の依頼

9月1日 会告原稿入稿（10月号掲載）

11月上旬 講演論文集の原稿入稿完了（8月上旬），アルバイトの手配

12月 討論会の開催

2.4 総会・学術講演会

10月 期日，会場，原案関係案内あり

11月 OS，公開討論会，併設行事など，担当者決定

12月 会告，講演募集

2月末 申し込み締め切り

3月上旬 プログラム編成会議

4月上旬 講演原稿の締め切り

5月中旬 総会・学術講演会の開催

2.5 その他

その他に，これまで以下のような事業および担当があり，幹事を中心に活動されている．

- ホームページの運営とセキュリティ管理
- 企画事業委員
- 編集担当委員
- 材料連合講演会のOSの担当（ほぼ隔年で材料学会が幹事学会になる）
- 標準，報告などの作成と出版
- 応力測定講習会
- 国際会議の開催（ICRS など）

第3章 規定，申し合 わせ

3.1 X線材料強度部門委員会規程

(名称)

第1条 本委員会は、社団法人日本材料学会X線材料強度部門委員会という。英文では JSMS Committee on X-ray Study of Mechanical Behavior of Materials と称する。(目的および事業)

第2条 本委員会は、X線回折を主とする材料評価手段を通じて材料の強度特性を解明しようとする学術分野、すなわちX線材料強度学に関する学術の発展および技術の向上に寄与することを目的とする。

第3条 本委員会は、次の事業を行う。

- 1 X線材料強度学に関する調査および研究
- 2 X線材料強度学に関する講演会、研究発表会、討論会および講習会
- 3 その他、前条の目的を達成するために必要な事業

第4条 本委員会は、第2条の目的を効率よく達成するために、小委員会およびワーキンググループをおくことができる。

第5条 本委員会は部門委員会賞を設けて、X線材料強度学に関する学術の発展および技術の向上に寄与したものを表彰することができる。

(委員)

第6条 本委員会の委員は、日本材料学会の正会員、賛助会員、名誉会員あるいは永年会員であることを条件とする。

第7条 本委員会への入会には本委員会の委員の推薦を必要とし、本委員会の了承を得て認められる。

第8条 本委員会の委員は、次の種別のいずれかに属するものとする。

1 個人委員 材料強度学に関する学識経験または関心を有する者で、本委員会の目的に賛同し、別に定める資料作成費を毎年1口以上納める者。

2 会社委員 本委員会の目的に賛同する企業あるいは企業内の事業所で、別に定める資料作成費を毎年1口以上納める者。企業あるいは企業内の事業所は会社委員のほかに担当委員を設けることができる。

第9条 委員交代および退会は本委員会の委員長に申し出るものとする。委員長は本委員会でそれを報告する。

(役員)

第10条 本委員会に次の役員を置く。

1 委員長	1名
2 総括幹事	1名
3 庶務幹事	1名
4 会計幹事	1名
5 事業担当幹事	若干名

第11条 本委員会に幹事会を置き、前条の役員をもって組織する。

第12条 委員長は幹事会で推薦し、委員会において決定する。

第13条 委員長は委員会を統括し、委員会を招集し、その議長を務めて健全な委員会運営を保持する。そのために、幹事会を招集してその審議を得ることができる。

第14条 幹事は幹事会で推薦し、委員会において決定する。

第15条 総括幹事は委員長の職務を補佐して、委員会の年間活動・長期活動を立案し、その推進を諮る。

第16条 庶務幹事は総括幹事を補佐して、委員会の年間活動・長期活動の立案と推進について助言する。

第17条 会計幹事は、委員長および総括幹事との連絡調整をもとに、委員会の年間予算を立案し、その執行にあたるとともに健全な委員会予算の保持に務める。

第18条 事業担当幹事は、庶務幹事を補佐し、また会計幹事と連絡調整して、第3条に定める事業を立案し、その推進を諮る。

第19条 役員の任期は原則として2年間とする。ただし、再任を妨げない。

(会議と開催頻度) 第20条 本委員会の運営に関する重要事項は、委員会で審議し決定する。会議は、年3回以上開催する。

第21条 幹事会は委員会の役員構成、年間活動、長期活動その他委員会活動に必要な事項を審議し、委員会に提議する。

(会計)

第22条 本委員会の経費は、本部交付金、資料作成費およびその他の収入をもって充てる。

第23条 本委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(本規程の改正)

第24条 本規程の改正は、委員会の承認を必要とする。

付則1 本委員会は1961年12月に設置された。

2 本規程は1999年4月1日から施行する。

3 本規程は2000年2月9日に改正された。

3.2 内 規

第1条 社団法人日本材料学会X線材料強度部門委員会委員は、規程第8条により資料作成費を納めなければならない。

第2条 資料作成費は以下のとおりとする。

会社委員 1口 3万円

個人委員 1口 2千円

第3条 委員会の事業について、学校関係の事業担当幹事、委員長および総括幹事への旅費の支給は、予算作成時に決定し、委員会の了承を得る。

第4条 幹事会での旅費の支給は、予算作成時に決定し、委員会の了承を得る。

第5条 講演謝金は委員外の講演者に対して支給する。

3.3 X線材料強度部門委員会賞規程

第1条 日本材料学会X線材料強度部門委員会は、X線材料強度に関する研究および技術を育成するため部門委員会賞を設け、本規程によって授与する。

第2条 部門委員会賞として業績賞および研究・開発賞をもうける。業績賞は、X線材料強度に関する研究・技術において顕著な業績を上げたものを選考し、それに授与される。研究・開発賞は、X線材料強度に関する研究・技術において、新たな研究成果を上げかつ将来の発展が期待できるものを選考し、それに授与される。

第3条 部門委員会賞は賞状および副賞をもってあてる。

第4条 次の部門委員会賞選考委員会(以下、選考委員会と称する)を設けて本賞の受賞者を選考する。

1. 選考委員会は1名の選考委員長と若干名の選考委員から構成される。

2. 選考委員は委員会幹事会が幹事会メンバーの中から選出し、選考委員長は委員会委員長が兼務することを原則とする。

3. 選考委員会は広く委員会会員より授賞対象者の推薦を募ることとし、その中より受賞者を決定する。

第5条 本賞を授与すべき適当な業績がないときは、その年度は見送ることとする。

第6条 本賞の授与は、原則としてX線材料強度部門委員会において行う。

3.4 最優秀発表賞

第1条 日本材料学会X線材料強度部門委員会は、学術奨励のため最優秀発表賞を設け、本規程によって授与する。第2条 本賞は、X線材料強度に関するシンポジウムにおける講演発表に対して、特に優秀な発表を原則として1件選考し、それに授与される。

第3条 本賞は賞状と副賞をもってあてる。

第4条 受賞者は次の方法で決定する。

1 受賞候補者を、座長および推薦委員が推薦する。推薦委員は委員会委員長が依頼する。

2 受賞者の選考は、上記の推薦にもとづき、選考委員会において行う。選考委員は委員会幹事会が幹事会メンバーの中から選出し、選考委員長は委員会委員長が兼務することを原則とする。

3 選考委員会は候補者の中から最適と認める発表を選考し、受賞者を決定する。

第5条 本賞を授与すべき適当な発表がないときは、その年度は見送ることとする。

第6条 本賞の授与は、原則として次年度のシンポジウムにおいて行う。

3.5 謝金，旅費の申し合わせ

1. 委員会

- 委員以外の方に委員会の講演を依頼した場

合、謝金を支給する。また、委員以外の講演者が個人委員相当の場合は、交通費も支給する。なお、委員以外の講演者が会社の方であっても、旅費が必要と認められた場合は、支給する。

- 委員会の事業担当幹事が個人委員の場合は、交通費を支給する。ただし委員会会場が同じ地域内と判断される場合あるいは前日に幹事会が行われる場合は対象外とする。

2. X線シンポ

- 委員に座長を依頼した場合、謝金は支給せず、参加登録費は有料とする。
- 委員以外に座長を依頼した場合、参加登録費を免除する。交通費および謝金は支給しない。(ただし、現実はありません)
- 講演会の受付(補助を含む)、照明係、時計係にはアルバイト代を支給する。
- アルバイトがシンポに参加する場合は参加登録費は有料とする。アルバイト料 6000 円。
- X線シンポ担当幹事が個人委員の場合は、交通費を支給する。ただし開催会場が同じ地域内と判断される場合あるいは前日に幹事会が行われる場合は対象外とする。

3. X線討論会

- 委員以外の方に委員会の講演を依頼した場合、参加費免除、論文集進呈、謝金を支給する。また委員以外の講演者が個人委員相当の場合は、交通費も支給する。
- 委員に講演を依頼した場合、参加費免除、論文集進呈、謝金および交通費は支給しない。
- 委員に座長を依頼した場合、参加費有料、謝金および交通費は支給しない。
- 委員以外に座長を依頼した場合、参加登録費を免除する。交通費および謝金は支給しない。(ただし、現実はありません)
- 講演会の受付(補助を含む)、照明係、時計係にはアルバイト代を支給する。
- アルバイトが討論会に参加する場合は参加登録費は有料とする。アルバイト料 6000 円。

- X線討論会担当幹事が個人委員の場合は、交通費を支給する。ただし開催会場が同じ地域内と判断される場合あるいは前日に幹事会が行われる場合は対象外とする。

4. 幹事会

- 個人委員の幹事には交通費を支給する。ただし開催会場が同じ地域内と判断される場合は対象外とする。

5. その他

選考委員会、ワーキンググループ、小委員会およびOS担当など、委員会の活動として必要な場合、幹事会の承認により旅費を支出することができる。